

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2025年 6月 17日

滋賀県知事
三日月 大造 殿

提出者

住 所 千葉県茂原市本納3210-1
氏 名 TOTOハイリビング(株)
代表取締役 三石 聡
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 0475-34-3555

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

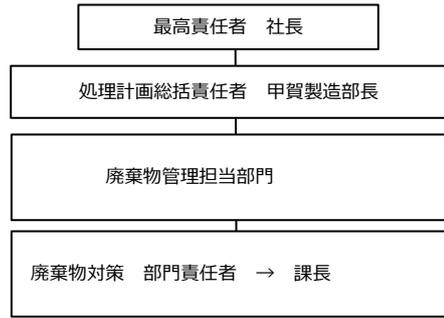
事業場の名称	TOTOハイリビング(株) 甲賀工場
事業場の所在地	滋賀県甲賀市水口町さつきが丘33
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：製造業 中分類13：家具・装備品製造業
②事業の規模	前年度の製造品出荷額 5,558,640,000円
③従業員数	244人(正社員：63人 グループ会社社員：17人 パート・契約：4人 請負社員：150人 派遣：10人)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1の通り

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（2024年度）実績】 別紙2の通り		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) 製造工程を見直し、製造業あたりの産業廃棄物排出量を削減している		
②計画	【目標】 別紙2の通り		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・製造工程を見直しを継続するとともに、製造量に併せて製造ラインの効率的な運用を図り、廃棄物の排出抑制を行う。 ・再生事業者の開拓を行う。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 木くず：廃材を「マテリアルリサイクル」と「サーマルリサイクル」向けに分別している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 木くず：廃材を継続して分別する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（2024年度）実績】 別紙2の通り		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・ 自社で再生利用した産業廃棄物はありません。		
②計画	【目標】 別紙2の通り		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 予定はありません。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（2024年度）実績】 別紙2の通り		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) ・ 自社で熱回収を行った産業廃棄物はありません。			
②計画	【目標】 別紙2の通り		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) ・ 予定はありません。			

(第4面)

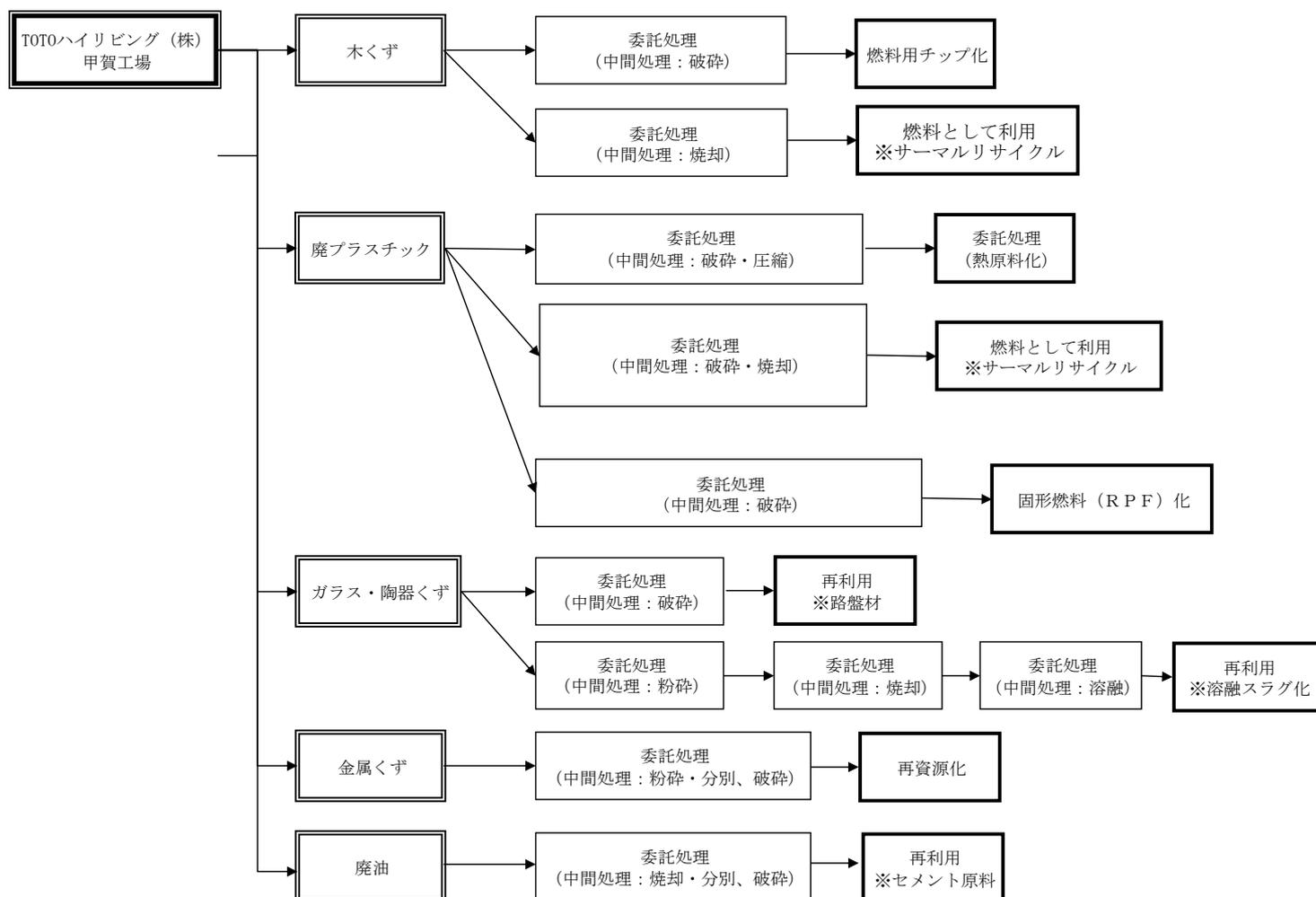
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（2024年度）実績】		別紙2の通り
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。		
②計画	【目標】		別紙2の通り
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・引続き埋立処分又は海洋投入処分する予定はない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（2024年度）実績】		別紙2の通り
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・廃プラスチック類については、熱回収ができる委託業者に処理を委託している。		

②計画	【目標】	別紙2の通り	
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
<ul style="list-style-type: none"> ・継続して廃プラスチック類については熱回収ができる委託業者に処理を委託している。 			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書 別紙1



産業廃棄物の種類 現状と計画	木くず ^a		廃プラスチック		ガラス、コンクリート、陶磁器くず ^a		廃油							
	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項														
排出量	1,720.4 t	1,766.6 t	79.8 t	79.8 t	0.3 t	0.3 t	0.3 t	0.3 t						
これまでに実施した取組	製造工程を見直し、製造業あたりの産業廃棄物排出量を削減している													
今後実施する予定の取組	製造工程を見直しを継続するとともに、製造量に併せて製造ラインの効率的な運用を図り、廃棄物の排出抑制を行う。再生事業者の開拓を行う。今年度は、新規設備導入等により木屑増加が見込まれる為前年度実績より悪化する見込み													
産業廃棄物の分別に関する事項														
分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組	木くず：廃材を「マテリアルリサイクル」と「サーマルリサイクル」向けに分別している。													
今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組	木くず：廃材を継続して分別する。													
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項														
自ら再生利用を行った(行う)産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t				
これまでに実施した取組	自社で再生利用した産業廃棄物はありません。													
今後実施する予定の取組	予定はありません。													
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項														
自ら熱回収を行った(行う)産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t				
自ら中間処理により減量した(する)産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t				
これまでに実施した取組	自社で熱回収を行った産業廃棄物はありません													
今後実施する予定の取組	予定はありません。													
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項														
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った(行う)産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t				
これまでに実施した取組	これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。													
今後実施する予定の取組	引き続き埋立処分又は海洋投入処分する予定はない。													
産業廃棄物の処理の委託に関する事項														
全処理委託量	1,720.4 t	1,766.6 t	79.8 t	79.8 t	0.3 t	0.3 t	0.3 t	0.3 t						
優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t						
再生利用業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.3 t	0.3 t	0.3 t	0.3 t						
認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	1,720.4 t	1,766.6 t	79.8 t	79.8 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t						
これまでに実施した取組	製造工程を見直し、製造業あたりの産業廃棄物排出量を削減している		廃プラスチック類については、熱回収ができる委託業者に処理を委託している											
今後実施する予定の取組	製造工程を見直しを継続するとともに、製造量に併せて製造ラインの効率的な運用を図り、廃棄物の排出抑制を行う。再生事業者の開拓を行う。今年度は、新規設備導入等により木屑増加が見込まれる為前年度実績より悪化する見込み		継続して廃プラスチック類については熱回収ができる委託業者に処理を委託している。											